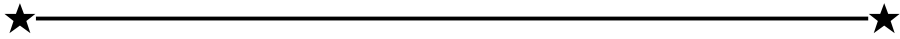




メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第167号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和6年7月26日



【今月のピックアップ！】

① 障害者芸術作品巡回展がはじまりました

【手話カフェ】

② 手話は世界共通？

【イベント】

③ 「兵庫県障害者アートギャラリー」の催し

【お知らせ・募集】

④ ひょうごユニバーサル社会づくり賞受賞者が決定しました

⑤ 「みんなの声かけ運動応援協定」を22団体と締結しました

⑥ ユニバーサルなスポーツ施設検討会の設置

⑦ 「働く人のためのゲートキーパー講座」のご案内

⑧ 「第29回全国盲ろう者大会」が開催されます

⑨ ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト」「小児筋電義手」

⑩ 障害者スポーツ出前講座のご案内



【今月のピックアップ！】



① 障害者芸術作品巡回展がはじまりました



兵庫県では、障害のある方の芸術作品をより多くの方々に知っていただく機会をつくるため、県障害者芸術・文化祭の入賞作品や、地域の障害福祉事業所等で制作された作品の展覧会を県内各地で開催します。

◇各地域での開催期間や場所はこちらから(県 HP)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_0000000_09.html

■お問い合わせ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL:078-362-3237/FAX:078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

【手話カフェ】

② 手話は世界共通？

手話のことを話しているときや講習会の時「手話は世界共通ですか？」と聞かれることが多いです。動きで伝える言語なので、ジェスチャーと同じようなものと思う方が多いのかなと思います。

実際は、手話は言語なので国によって異なります。言語はその国の文化や行動様式と強く結びついています。また、手話の場合はその国のメジャー言語である音声言語の影響を受けざるを得ないので、国が違えば表し方も変わってきます。

そして、音声日本語と同様に手話にも方言(地域で使われている表現)がたくさんあります。

たとえば、「名前」という単語の表し方は、おおまかに関東と関西で別の表現が使われています。関東は左手のひらに右の親指をくっつける表現で、「ハンコを押す」という動作から生まれたとのことですし、関西は右手で親指と人差し指で輪を作り、左胸につける表現で、「名札をつけている場所」というイメージから生まれてきたと

聞いています。(上記の手の左右は、右利きの場合の手の使い方です。)このように、地域の文化や慣習と結びついて言語は生まれてきます。

現在も社会の変化に伴って、音声言語が次々と新しい言葉を生み出すように、手話言語にも新しい表現が増えていきます。一方で、今は見られない街の様子や昔栄えた産業などから生まれた手話が今も使われていて、その当時の様子を知るヒントになる場合もあります。

逆に、世界共通の表現がありますので一つご紹介します。耳が聞こえる人も世界共通で使っているものです。

それは「拍手」。

耳が聞こえる人の拍手は両手をたたいて「パチパチパチ…」と音を出しますね。聞こえない人の拍手は、両手を開いて頭上に上げ、ひらひらと振る動作です。耳と目で受け取る方法は違いますが、どちらにもぎやかさ、華やかさが伝わりますね。

■「手話カフェ総集編」「兵庫県手話ハンドブック」をウェブブックで公開中です。スマホでもパソコンでも手軽に読めますので、ご活用ください！

[兵庫県／ウェブブック \(hyogo.lg.jp\)](http://hyogo.lg.jp)

兵庫県設置通訳者

【イベント】

③「兵庫県障害者アートギャラリー」の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では「Pur a pur(プーアプー)作品展」を開催しています。

作品展には 4 名の作家さんの作品が展示されます。キラキラした華やかな作品、海の底にいるような深みのある作品、原色で描かれた大胆な作品、細部まで描きこまれた楽しい作品など、それぞれの世界観が際立っていながら、どことなくなじんでいる、そんな不思議な創作の世界を、どうぞご鑑賞ください。

◇「Pur a pur(プーアプー)作品展」

■日 時:開催中～9月27日(金) 10:00～18:00

※最終日は12:00閉場

※月曜日休館(祝日の場合は翌日)

■場 所:兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階
(神戸市灘区原田通3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■お問い合わせ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL:078-362-3237/FAX:078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

【お知らせ・募集】

④ ひょうごユニバーサル社会づくり賞受賞者が決定しました

県は、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、全ての方が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」を、皆さまと一緒に実現することを目指しています。

そして毎年、ユニバーサル社会づくりに向けた個人・団体・企業の率先した活動を「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」として、顕彰しています。

令和6年度は、7月24日に、兵庫県公館にて贈呈式を開催し、様々な分野でユニバーサル社会の実現に向けた活動をされている受賞者の皆さまに感謝の意を伝え、表彰状と副賞を贈らせていただきました。

■知事賞

【個人】八尾 敬子さん

「珈琲焙煎工房 Hug～障がいのある人の小さなしあわせ探しを好きな仕事で～」

【団体】人権書道きらきら

「書活動を通して社会参加を目指す障がい者支援」

【企業】株式会社デンソーテン

「クラブ活動を通じた技術指導・審判協力、用具寄贈による障害者スポーツの支援」

■県議会議長賞

【個人】松下 信斗さん

「不登校生徒のための居場所づくり」

【団体】一般社団法人みずほの家

「芸術文化事業を通して街に溶け込む重度障害者施設みずほの家」

【企業】五大薬局青山店

「オレンジカフェあおやま1号店(認知症カフェ)における薬学部5
回生実務実習を通じた小学生・中学生と高齢者の交流」

■ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議会長賞

【個人】中山 美津子さん

「スポーツ交流活動を通じた障害者の社会参加及び交流の推進」

【団体】龍野コンシェルジェ

「龍野城下町ユニバーサルツーリズム研修事業」

■審査員特別賞

【団体】ひまわりっ子クラブ

「和太鼓の演奏を通じた社会参加活動」

⑤ 「みんなの声かけ運動応援協定」を22団体と締結しました

県は、まちなかで困っている人に声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」を推進しています。

この運動を発展させるため、毎年、県と団体・学校・企業等が連携し、地域で運動の普及を推進する「みんなの声かけ運動応援協定」を締結しています。

令和6年度は7月24日に、兵庫県公館にて締結式を行い(※ひょうごユニバーサル社会づくり賞贈呈式と同時開催)、「SDGs 体験型地域プログラム(ひょうごフィールドパビリオン)」の実施主体や「ひょうごユニバーサルなお宿」参加施設の皆さんと協定を結びました。

■ 応援協定締結団体(計22団体)※敬称略

- ・兵庫県線香協同組合
- ・福良有限会社
- ・やぶ市観光協会
- ・株式会社吹き戻しの里
- ・NPO 法人住まいの環境研究所
- ・有限会社アートスタジオタカコ
- ・特定非営利活動法人上山高原エコミュージアム
- ・特定非営利活動法人里地里山問題研究所
- ・株式会社朝野家
- ・株式会社 Mother Earth
- ・株式会社ホテルオークラ神戸
- ・ホテルニューアワジ
- ・淡路夢泉景
- ・夢泉景別荘 天原
- ・海のホテル 島花
- ・海のホテル 島花 レジデンスヴィラ
- ・渚の荘 花季
- ・夢海游 淡路島
- ・ホテルニューアワジ プラザ淡路島
- ・ホテルニューアワジ別邸 あわじ浜離宮
- ・あわじ浜離宮 別荘 鐸海
- ・湊小宿 海の薫とAWAJISHIMA

「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」により広がったパラスポーツへの理解などのレガシーと、HYOGO スポーツ新展開検討委員会からの①ハード・ソフト両面での現状調査の実施、②圏域・市町域でのインクルーシブなパラスポーツ拠点づくりなどの提言を踏まえ、スポーツ施設の一層のユニバーサルデザイン化を目指し、「ユニバーサルなスポーツ施設検討会」を設置します。

1 検討内容

- (1) 県内スポーツ施設等へのバリアフリー化、障害者の利用状況等のアンケート結果を踏まえた論点整理
- (2) 論点整理及びスポーツ施設の現地視察から見えたユニバーサルなスポーツ施設としての課題整理、最適な施設のあり方の方向性提示、支援策の検討

2 委員構成【10名】

(有識者)

- ・青山将己 流通科学大学人間社会学部講師
- ・柳 尚吾 関西学院大学建築学部准教授

(障害者スポーツ振興団体)

- ・増田和茂 県障害者スポーツ協会理事長

(障害者団体)

- ・木村佳史 県身体障害者福祉協会理事長
- ・柴崎博彦 県知的障害者施設協会スポーツ委員長
- ・新銀輝子 県精神福祉家族会連合会会長

(パラアスリート)

- ・大矢勇氣 県ユニバーサルスポーツ大使 車いす陸上選手
東京大会 100m銀メダル
- ・笠本明里 パラ水泳選手 北京大会 100m背泳ぎ7位入賞
- ・久保秀男 車いすバスケットボール選手
障害者国体車いすバスケットボール優勝

(施設関係者)

- ・奥山隆彦 株式会社ウェルネスサプライ
しあわせの村温泉健康センター 総支配人

* 民間施設関係者には、適宜テーマを決めて個別にヒアリング等を実施します。

* 施設関係者、地元市町担当者、施設利用者について、検討会

実施時に傍聴可とし、意見を求めることとしています。

3 第1回検討会

日時:令和6年8月9日(金)10:00~12:00

場所:兵庫県庁2号館5階庁議室

議題:アンケート結果を踏まえた論点整理及び視察先の決定

※今後、9月末までに2回に分けて県内4施設程度の視察を実施します。検討結果等を踏まえ、ハード、ソフト両面で県内スポーツ施設の支援ができるよう来年度の予算要求につなげていきます。(令和7年度:先進的な施設のモデル整備、令和8年度:補助制度の創設等を検討)

⑦ 「働く人のためのゲートキーパー講座」のご案内

「働く人」のこころの健康づくりを推進するため、ゲートキーパー講座を実施します。

- ・職場の管理職の方、健康管理担当の方
- ・同僚がしんどそうだが声かけの方法がわからないと思っている方
- ・自分自身もこころが疲れている等と感じている方

皆さまのご参加をお待ちしています。

*「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげる人のことです。

■対 象

兵庫県内の企業でお勤めの方、兵庫県から他府県の企業に通勤している方

■開催日時・場所(すべて内容は同じです。)

(1)神戸:令和6年9月13日(金)13:30~16:30

神戸国際会館 9階大会場

(2)姫路:令和6年11月29日(金)13:30~16:30

アクリエひめじ 407号室

- 講 師:NPO 法人ゲートキーパー支援センター
理事長 竹内志津香氏
- 内 容:職場のストレスについて、悩みの聴き方(ロールプレイング実習)/自分自身を大切に(心の回復体操)など
- 参 加 費:無料
- 申し込み:NPO 法人ゲートキーパー支援センターのホームページより、開催日の3日前までにお申し込みください(先着順)。
<https://monban.net>

- 担当課 兵庫県福祉部障害福祉課
TEL:078(341)7711(内線 3092)

⑧「第29回全国盲ろう者大会」が開催されます

全国の盲ろう者(目と耳の両方に障害のある方)とその家族や通訳・介助員をはじめとする支援者の皆さんが一堂に会し、相互交流を深め、盲ろう者福祉のあり方について意見交換・発信する「全国盲ろう者大会」が、兵庫・姫路で5年ぶりに開催されます。

- 主 催 :社会福祉法人全国盲ろう者協会
- と き :8月30日(金)~9月1日(日)
- と ころ :アクリエひめじ 展示場
- 内 容 :・開会式
 - ・分科会
 - ①全国の盲ろう者の生の声を聞く
 - ②探してみよう困難の乗り越え方意見交換
 - ③自慢の特技や芸を披露しませんか 等
 - ・自由交流広場
 - ・閉会式

- 全国盲ろう者大会特設サイト
<https://www.jdba.or.jp/taikai/2024/top.html>

⑨ ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト」「小児筋電義手」

兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」のうち、障害者の社会参加を支援する2つのプロジェクトをご紹介します。

■障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト

自らの障害を乗り越え、スポーツに打ち込む、輝く障害者アスリートに、障害者スポーツ用具の購入支援等を行います。

また、施設で集団生活を送る障害児に、発達や情緒の形成に寄与するスポーツ競技用具や積み木などの知育玩具・遊具の購入費、動物園や遊園地などでのレクリエーション活動経費を助成することで、子どもたちに“新たな経験”を届けるための支援を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/zeitemplate.html>

■小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト

筋電義手(きんでんぎしゅ)とは、筋肉が収縮するときを生じる微量の筋電位を利用して、本人の意思で指を動かせる電動の義手です。筋電義手は、お茶碗を持ってお箸で食べる、紙を持ってハサミで切るなどの両手での動作を可能にし、体のバランスを整えるなど、こどもの成長過程で様々な利点があります。

皆さまからの寄附により、事故や病気などによって手を失ってしまった子ども達へ訓練用筋電義手の確保・貸出等を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/bank.html>

■兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」全般についてはこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html>

⑩ 障害者スポーツ出前講座のご案内

兵庫県では、障害者スポーツへの理解向上・すそ野拡大のため、出前講座を随時実施しています。

学校や企業、地域のスポーツクラブなどから申込を受け、車いすバスケットボールやボッチャなどのパラスポーツ体験や、障害者アスリートによる実演などを現地にて行いますので、お気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

TEL:078-362-3237/FAX:078-362-9040

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで
兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
